

称名滝

立山連峰の水を集め、弥陀ヶ原台地をV字状にえぐる落差日本一の滝。4段に折れながら二気に流れ落ちるその落差は350mにもなる。国の名勝および天然記念物に指定され、日本の滝百選に選ばれている。雪解け水が多く流れこむ春から初夏にかけて、幻の滝と言われる落差500mのハンノキ滝が右側に現れ、2本の滝が巨大なVの字を描く。

立山を開山したとされる佐伯有頼さへき ありよりが険しい坂道で力尽きそうになったとき、称名念仏を唱える声にたすけられた。この声は実は滝の流れ落ちる音であったことから、称名滝しょうめいたきと名づけられたといわれている。



富山県中新川郡立山町芦峯寺
富山地方鉄道「立山駅」から「称名平駐車場」まで
車や路線バスで約20分、駐車場から徒歩約30分。